



Apple Watch Series 5バッテリーの交換

このガイドを参照して、Apple Watch Series...

作成者: Dominik Schnabelrauch



はじめに

このガイドを参照して、Apple Watch Series 5の消耗したバッテリーの交換をします。

このガイドでは、スタンダードGPSバージョン用の修理ガイドですが、セルラー/LTEバージョンの作業内容も類似しています。

バッテリーが膨張している場合は[適切な方法で処理を行なってください](#)。安全上の理由から、**Apple Watchの解体を始める前に、バッテリー残量を25%以下まで放電してください**。作業中、アクシデントでバッテリーにダメージを与えてしまうと、熱に伴う危険が潜んでいます。

ディスプレイ開口作業中、Apple WatchのForce Touchガスケットにダメージを与えてしまうことがあります。ガスケットのレイヤーを外してしまった場合は、新しいForce Touchガスケットに交換しなければなりません。

デバイスを再組み立てする際は、コンポーネントを密封するために交換用の接着剤が必要です。

ツール:

- iOpener (1)
- iFixit開口ツール (1)
- iFixit開口用ピック(6枚セット) (1)
- Curved Razor Blade (1)
- 保護メガネ (1)
- ESD安全グローブ (1)
- トライポイントY000 ドライバー (1)
- ピンセット (1)
- スパッジャー (1)

部品:

- Apple Watch (44 mm SEと Series 5) 交換用バッテリー (1)
- Apple Watch (40 mm Series 5) 交換用バッテリー (1)
- Apple Watch バッテリー用接着剤 (1)
- Apple Watch (44 mm Series 5) Force Touchセンサーガスケット (1)
- Apple Watch (40 mm Series 5) Force Touchセンサーガスケット (1)
- Apple Watch (44 mm Series 4/5)用接着ストリップ (1)
- Apple Watch (40 mm Series 4) 接着ストリップ (1)

手順 1 — ディ스플레이のオープニング



- 作業を始める前に、Watchの電源を切ってください。
- タッチスクリーンが壊れていて、Watchの電源を切れない場合は、[こちらの代替方法](#)で電源を切ってください。

手順 2 — 安全要件



- スクリーンとWatch本体の間は非常に薄いため、鋭利なブレードが両側を乖離するために必要です。作業に進む前に、次の警告内容をよく読んでください。
 - ⚠ ナイフから完全に手を保護してください。自信がない場合は、レザー製もしくはガーデニング用の防護用グローブを装着してください。
 - ⚠ ナイフがスリップして怪我をしたり、Watchにダメージが入ってしまう可能性があるため、ブレードを使用する際は力を入れすぎないでください。
 - ⚠ **保護用メガネ**を装着してください。ナイフもしくはガラスが壊れた場合、飛散することがあります。
- ① Watchバンドを必要に応じて装着するか、外してください。修理の際に、コントロールを取りやすい方法を取ってください。

手順 3



- [iOpenerを準備して](#)(もしくはヘアドライヤーやヒートガン)、Watch表面を温めて、ディスプレイの接着剤を柔らかくします。
 - iOpenerをWatchの表面に少なくとも2分間当てて、スクリーンを温めます。
- ① ディスプレイの接着剤が柔らかくなるまで、iOpenerを複数回に渡って温めて、Watchに載せる作業を繰り返す必要があります。

手順 4



- ディスプレイと外側ケースの間の薄い隙間に湾曲したブレードの先端を差し込みます。デジタルクラウン付近のディスプレイの短辺側から始めます。
- 隙間にしっかりと押し込みます。
- ブレードの先端を差し込めたら、ブレードを傾けてディスプレイをわずかに開口します。

⚠ ナイフを2mm以上差し込まないでください。Force Touchセンサーにダメージを与えてしまいます。

手順 5



- 湾曲したブレードで小さな隙間を作れたら、ブレードを取り出して、開口ピックの薄い先端を隙間に差し込みます。
- 親指を使って開口ツールを隙間に押し込み、ディスプレイをわずかに持ち上げます。

⚠ ディ스플레이を完全に開いて、ディスプレイを外さないでください。

手順 6



- Force Touchセンサーは、Watch本体ではなく、ディスプレイフレーム側に付着している可能性があります。この場合、ディスプレイの下に開口ピックを挿入し、Force Touchガasketをディスプレイから慎重に分離します。

⚠ Force Touchガasketを保持するには、ディスプレイ端の下をゆっくりとこじ開けます。ディスプレイを持ち上げる際に、Force Touchガasketが裂けてしまった場合、またはガasket自体を取り出す場合は、Force Touchガasketを交換する必要があります。

- ディスプレイ周辺を開口ピックでスライドして、Force Touchガasketとディスプレイの間の接着剤を剥がします。

⚠ 開口ピックを2mm以上深く差し込まないでください。コンポーネントが破損する可能性があります。

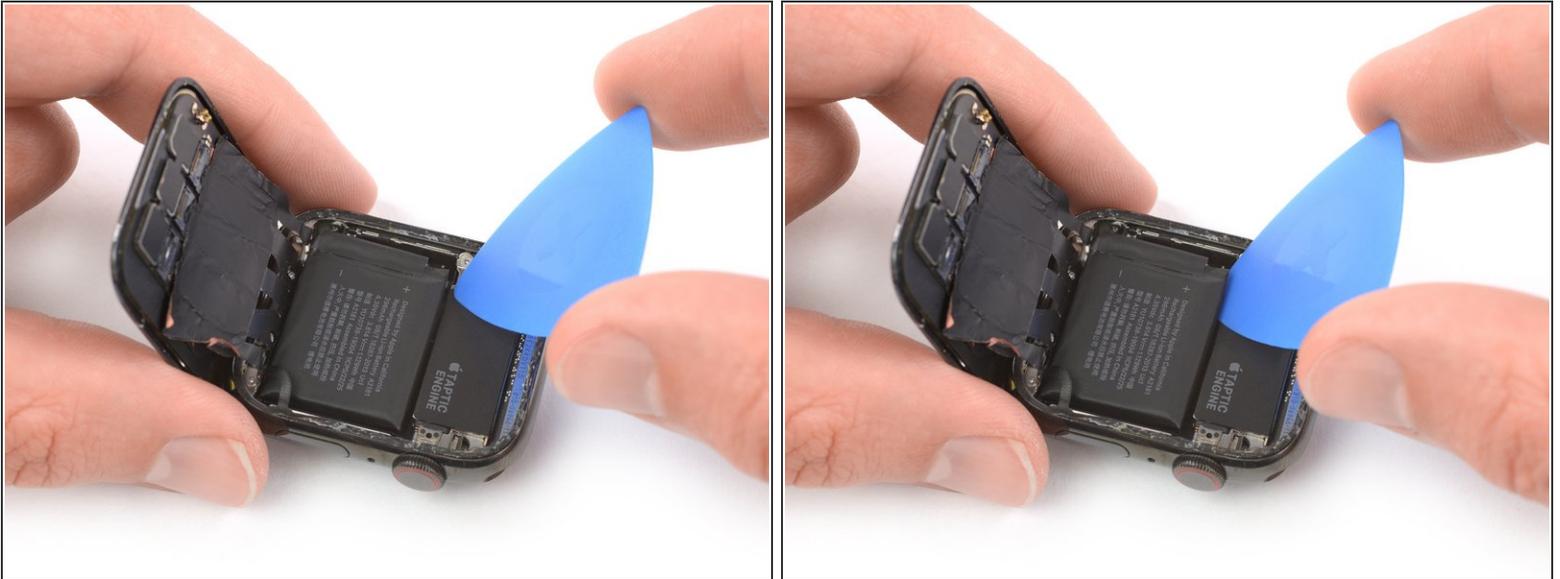
手順 7



⚠ スクリーンを裏側に開く際は、ディスプレイケーブルを引っ張らないようにご注意ください。

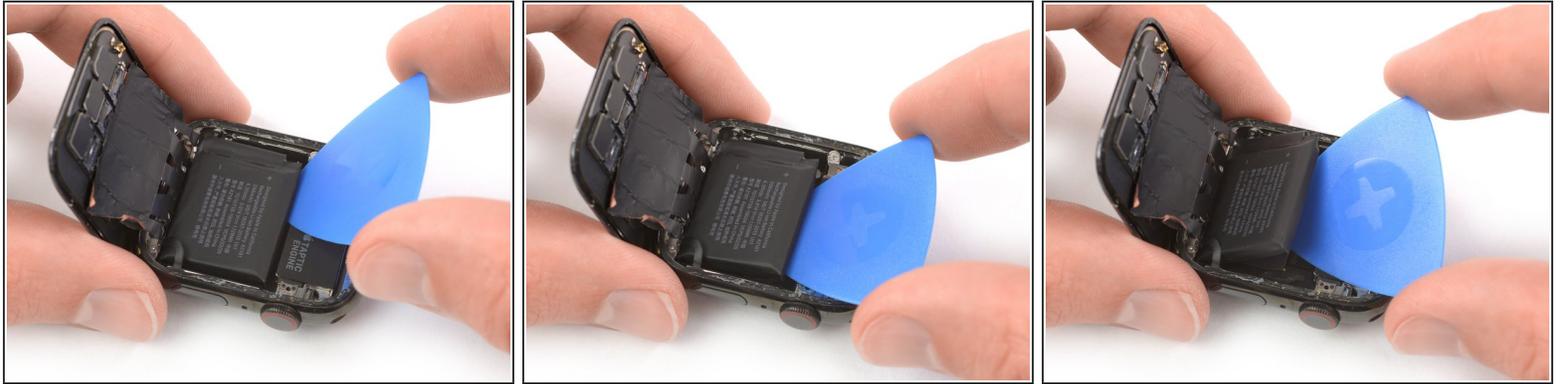
- 本を開くようにディスプレイをゆっくりと持ち上げます。

手順 8 — バッテリー



- バッテリーにアクセスできるほどのスペースができるまでスクリーンを持ち上げます。
- バッテリーとTaptic Engineの間に開口ピックを差し込みます。
- ⓘ 通常の開口ピックは、Apple Watch Series5の44mmバージョンに対応できます。ただし、40 mmモデルで十分なスペースがない場合は、[はさみで開口ピックを切ってカスタマイズ](#)できます。

手順 9 — バッテリーをこじ開けます



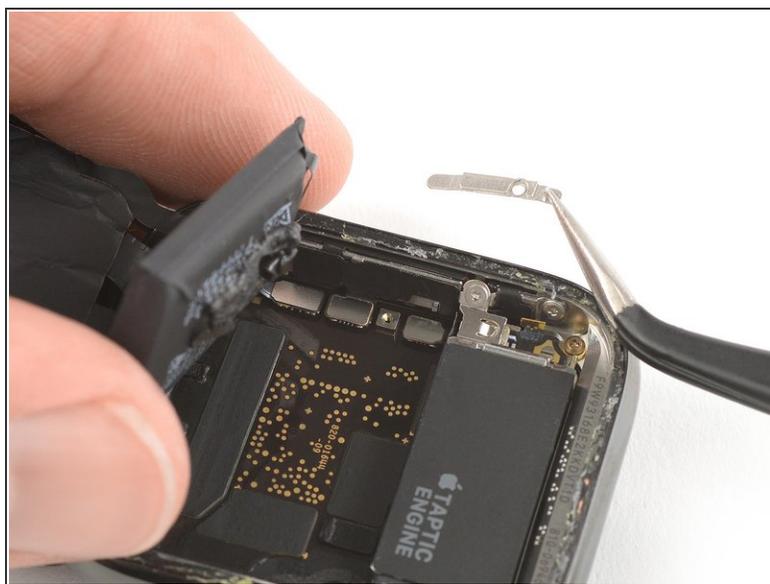
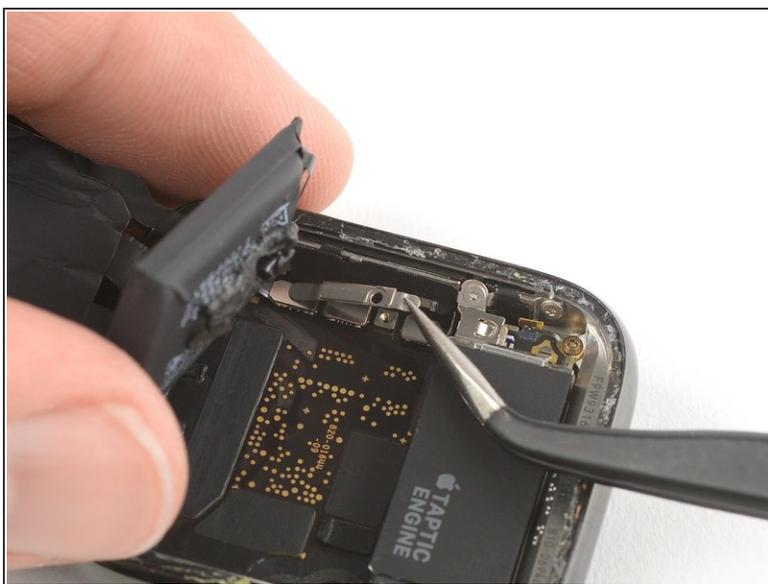
- バッテリーの端に沿って開口ピックをスライドして、接着剤を緩めます。
 - ① バッテリーに使用されているのは柔らかい接着剤です。ただし、バッテリーをこじ開けにくい場合、[温めたiOpener](#)をWatchの背面に置いて、接着剤を柔らかくします。iOpenerは、少なくとも2分間のせてください。
 - 一定の安定した力で、バッテリーをゆっくりと持ち上げ、システムボードに固定している接着剤から離します。
- ⚠ ディスプレイケーブル、特にバッテリーの一角を覆っているForce Touchケーブルに注意してください。
- ⚠ バッテリーを損傷した場合、発火する危険性があるため、バッテリーに穴を開けたり変形させないでください。
- ⚠ まだバッテリーを外さないでください。Watchのアセンブリに繋がったままです。

手順 10



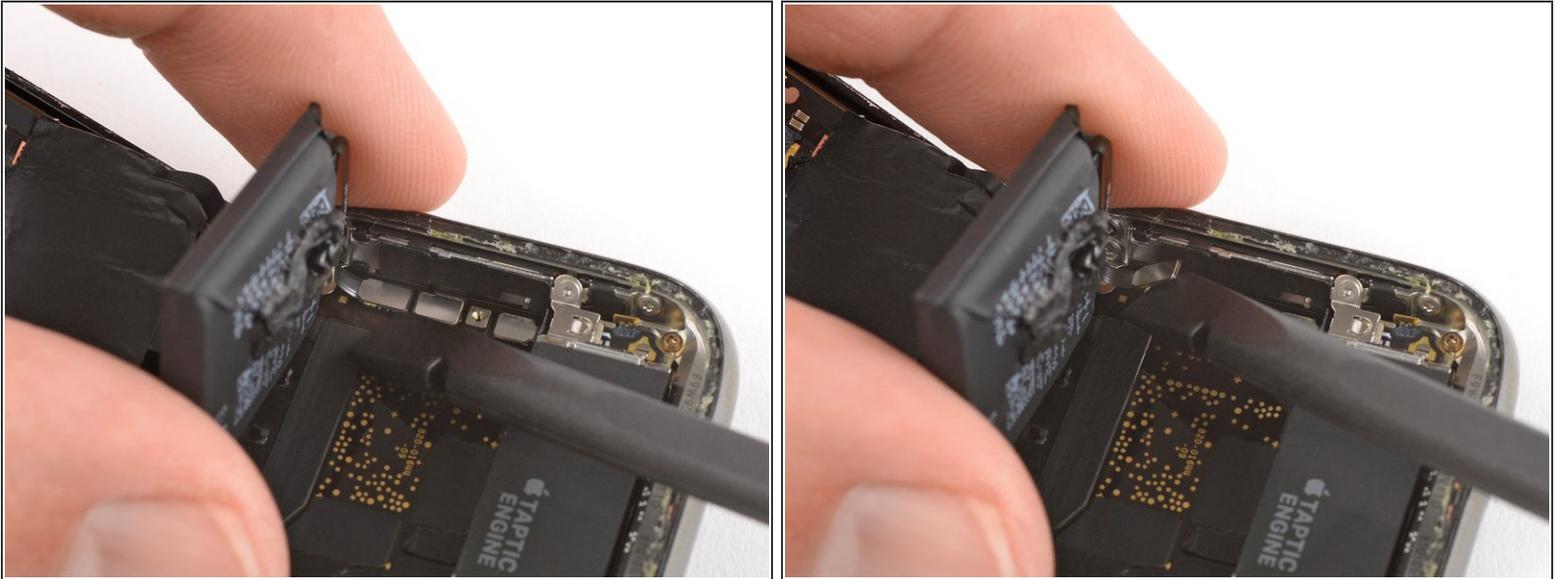
- 75度の角度までバッテリーを慎重に持ち上げます。
- 1.1mm Y000ネジを外します。

手順 11 — メタルプレートを取り出します



- ピンセットを使って、バッテリーコネクタを覆っているメタルプレートを取り出します。

手順 12 — バッテリーの接続を外します



- スパジヤーの先端を使って、バッテリーフレックスケーブルの接続を持ち上げて、外します。

手順 13 — バッテリーを取り出します



- バッテリーを外します。

⚠ 破損したり変形したバッテリーを再インストールしないでください。潜在的な危険が潜んでいます。

- ① 古いバッテリーを再利用する場合は、接着剤を再利用して、バッテリーを固定してください。あるいは、イソプロピルアルコールと糸くずの出ない布で古い接着剤を取り除き、[Tesa 61395](#)などの両面テープの小片、または[E6000](#)などの液体接着剤を少量使用します。

- 再組み立ての後、Watchを密封するには、[デバイスの再シールガイド](#)を参照してください。

可能であれば、新しい接着剤をインストールしてデバイスを密封する前に、修理の結果をテストしてください。

[プレカットされた接着剤が付いた新しいバッテリー](#) もしくは両面テープを準備してください。正しい位置にバッテリーを装着するには、デバイスに新しい接着剤を取り付けます。バッテリーに接着剤を直接付けしないでください。

Apple Watch Series 5を再組み立てするには、バッテリーを再装着するために、このインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。

このガイドを完成後、パフォーマンスの最適化のために、新しくインストールしたバッテリーを [キャリブレーション](#) してください。

e-wasteを処理する場合は、[認可済みリサイクルセンターR2](#)を通じて廃棄してください。

修理が上手く進みませんか？トラブルシューティングとして、このモデルの[アンサーコミュニティ](#)を参照してください。